

(1) 勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画(2026年)

項目	具体的な取り組み内容
勤務医負担軽減体制	
労働時間・労務管理	勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施 ※指定医不在の場合は、オンコール体制(当番制)を整備 勤務間インターバルの確保 勤怠システム導入による適切な労務管理の実施
年次有給休暇取得の促進	子育て支援やワークライフバランスの推奨 半日・時間単位休暇制度等を継続実施 夏季研修休暇制度を実施
病棟管理業務	患者数・病棟機能(疾患ごと)を考慮した主治医の決定と平準化
医師確保	法定人員(常勤換算数)以上の実務を考慮した優遇配置
医師と他職種の役割分担体制	
医師事務作業補助者の配置	医師事務作業補助者を1名体制 診断書等の文書管理業務補助 医師への問合せや確認は、診療時間に支障をきたさぬよう医師BOXを設置
初診時の予診実施	精神保健福祉士によるインテーク(情報収集) 看護師による問診・検査手順・静脈採血等の実施 専門職(看護師・精神保健福祉士・事務職員)による入院説明
外来診療	予約診察(初診・再診の時間)の定着化 平日(月～金)の終日診療、土日祝日は休診とし、平日業務に集約 土日祝日 夜間帯の指定医不在時はオンコール体制(当番制)を整備
後発医薬品・単剤化への移行	薬剤師による後発医薬品。単剤化への移行促進支援
情報連携(電子カルテ)の運用	多職種情報連携で電子カルテの有効活用を図る カンファレンス記録や議事録への音声文字お越しシステム導入(医療DX化) 持参薬 薬剤師電子カルテ入力継続 電子カルテ上のクリニカルパスを充実 電子カルテメールを活用した運用(連携)化
他の医療機関との連携体制	
他科受診時の連携	紹介・逆紹介時の連携病院を集計・情報共有 協力型臨床研修病院としての連携
救急病院や僻地医療機関と連携	週1回の米盛病院対診 月1回の甑島僻地診療 オンライン診療の導入